月刊 あなたにこの本を！ 平成 23 年 3 月号

大阪市立図書館 「あなたにこの本を！」選定委員会

大阪市立図書館が購入した新しい本の中から、図書館員のおすすめの本を紹介します。

・・・字が大きめ　・・・中高生にも　・・・図・写真が多い

※価格のあとの（ ）内の番号は、大阪市立図書館書誌 ID です。

大阪食文化大全

笹井良隆　編著
西日本出版社　2520 円　(0012185627)

ジャンル ： 大阪にゆかりの本

「大阪の食い倒れ」といわれる、江戸時代から昭和にかけての大阪の食文化を多岐の項目にわたってまとめあげた手引書。割烹(かっぽう)の発祥の地が大阪であったこと、大阪湾でも昔は水揚げされていたトラフグの調理法など、食の歴史が紹介されている。豊富な図版や写真、レシピなども加え、親しみやすく手に取りやすいものとなっている。本書からは、先人たちの食に対する情熱や工夫によって築かれた大阪の食文化の奥深さが味わえる。〔383.8〕

ゆっくりやさしく社会を変える ―NPOで輝く女たち―

秋山訓子　著
講談社　1365 円　(0012178000)

ジャンル ： 生き方・考え方に学ぶ

1998 年にNPO法が施行され、行政では困難だった臨機応変で多様なサービスを行えるNPO法人が多く誕生した。本書では、そのさきがけとなり、現在も介護や保育などの現場で活躍中の女性たちを紹介する。阪神・淡路大震災で被災しながらも先頭に立って救援活動をした話や、24 時間、365 日介護ヘルパーを派遣する話などからは、彼女たちの熱意が伝わってくる。活動を通じて描かれる、何事にも意欲的で個性的な彼女たちの生き方に勇気づけられる。〔335.89〕

ぼくの生物学講義 ―人間を知る手がかり―

日高敏隆　著
昭和堂　1890 円　(0012164470)

ジャンル ： 知識・教養を深める

動物行動学の研究者である著者が、生物学からみた人間について、やさしく丁寧に説く。直立歩行をするための体の構造や、クジャクのメスは何羽も比べて一番よく鳴くオスを選ぶといった他の動物の繁殖行動などを紹介。様々な角度から人間とはどういう動物かについて述べる。普段当たり前に感じている自分たち人間について、新たな見方が示される。大学での講義を元にした本書は、著者の声が聞こえてくるようで、学ぶこと考えることの楽しみに満ちている。〔460〕

「気」の日本人

立川昭二 著
綜合社(発行) 集英社(発売) 1365 円 (0012192229)

ジャンル ： 知識・教養を深める

「気になる」「人気者」「空気を読む」など「気」のつく言葉が日本語にはあふれている。日本人特有の言語表現であり、「心」ともまた違う「気」とはどのようなものか。歴史学者である著者は、世相を反映した言葉や夏目漱石の小説ほか多くの文学作品などから例をあげ、日本人の意識の深層と文化を解き明かす。目に見えない「気」というものが、私たちの心・体・社会の奥深くに存在し、思考や行動に影響を与えていることがわかり、驚かされる。〔361.62〕

親は知らない ーネットの闇に吸い込まれる子どもたちー

読売新聞社会部 著
中央公論新社 1575円 (0012182849)

ジャンル ： 現代社会を見つめる

個人情報の流出や薬物売買など、携帯電話からつながるネットの闇の世界を丹念に取材した読売新聞の連載記事がまとめられた。ケータイを通して子どもたちが危険と隣り合わせになっている現状が示され、がく然とする。中学2年生で 46%、高校2年生で 96%が所持している今、ケータイを取り上げるのは不可能に近い。有害サイトは見られないようにしている、という程度の甘い認識を捨て、親がケータイの問題点を熟知し、子どもを守る必要性を説く警告の書。〔367.7〕

就活エリートの迷走

豊田義博 著
筑摩書房 798 円 (0012199764)

ジャンル ： 現代社会を見つめる

エントリーシートの作成や面接対策など、受験勉強に励むように努力し、有名企業に入社するが、その後能力を発揮できない「就活エリート」。本書では、長年就職情報産業に携わってきた著者が、彼らの心理面に注目して就活を分析した。自分探し・やりたいこと探しの結果、会社や仕事に対して現実とかけ離れた理想像を作り上げてしまうことが一因であると著者は推測する。現在広く行われている就職活動や採用試験のありかたについて改めて考えさせられる。〔377.9〕

美の方程式 ー美＝完璧×破れー

布施英利 著
講談社 1500 円 (0012175231)

ジャンル ： 知識・教養を深める

私たちが美しいと感じるものにはどんな共通項があるのだろうか。本書では、芸術学者である著者が、黄金比・螺旋(らせん)・崇高といったキーワードを軸に、美の核心に迫る。「完璧なもの」が「崩れる、破れる」ところに美が生じるという著者の理論は斬新(ざんしん)だ。ダ・ヴィンチの作品や地球の自転と公転の運動などを実例に引いた丁寧な解説は分かりやすい。美は芸術だけでなく、自然界や科学の世界にも存在するということが理解できる。〔701〕

謎解き 太陽の塔

石井 匠 著
幻冬舎 945円 (0012194907)

ジャンル ： 知識・教養を深める

大阪府吹田市の万博公園にそびえ立つ「太陽の塔」は、芸術家・岡本太郎の代表作であり、1970 年に開かれた日本万国博覧会のテーマ館であった。本書では岡本太郎を研究する著者が、この塔の3つの顔が何を意味するかなどの、9つの謎を解き明かす。太郎の他の作品や著作をふんだんに引用して、彼が「太陽の塔」に込めた思いに迫っていく。宗教や美術に関する知識を駆使しての大胆な持論の展開には、推理小説の謎解きのように思わず引き込まれる。〔723.1〕